

あの頃の津山

大正末頃の津山西尋常小学校 (津山市立西小学校)

写真提供・江見写真館



津山西尋常小学校(津山市立西小学校・小田中)は、明治末から大正時代にかけて、児童数が急増していた津山男子尋常小学校(北小学校の前身)と津山女子尋常小学校(東小学校の前身)の児童を分散させるため、学区を藪田川に架かる翁橋から西側の細工町・上紺屋町・坪井町・宮脇町・福渡町・南新座として、新設されました。

大正11年(1922)12月、校舎建設の認可が下りると、直ちに工事が始まります。ところが、降雪などにより校舎の建設工事は思うように進まず、大正12年の新学期には完成が間に合いませんでした。そこで、西小学校区の児童は、両尋常小学校や西小学校の近くにある本源寺で授業を受けることとなります。新校舎が完成したのはその年の6月で、7月によく開校式を行うことができました。

写真の校舎は新しく、モダンな洋風の建物になっています。昭和44年に校舎は解体され、姿を消しますが、46年間、多くの児童の学び舎となりました。今はもう当時の面影を見ることはできませんが、大正の終わりの、開校して間もない西小学校の様子を知ることがきる一枚です。



現在の西小学校

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

関津山郷土博物館

☎22・4567

つばき編集室

ローリングストックをしよう。缶詰やレトルト食品などを備蓄しておいて、古いものから使い、使った分は新しく買い足せばいいんだな。よし。おつ。この、カップ麺、消費期限が近いな。あ、これも、これも。…同じ日に同じ種類のカップ麺を買ったから、同時に消費期限が来ちゃった。(´Д｀)

きらめく津山人で岡本監督取材し、学生と楽しそうにサッカーをしている姿を見て、サッカーがやりたくなりました。久しぶりに練習に顔を出そうと思います。6月にブラジルで開催されるワールドカップには作陽高校出身の青山敏弘選手が日本代表に選ばれているので活躍が楽しみです。(雨)

17ページの交流通信の編集のため、宮古そばを取り寄せました。わたしにとつて、人生初の「お取り寄せ」です。届いた小包を開くと、麺にスープ、具材には、刻みネギまで入っていて、至れり尽くせり。こういったお取り寄せ交流も有りだなと思いつつ、おいしくスープを飲み干しました。(修)

今月の表紙

五月に映える早苗の並

5月6日 上横野

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページPC版

☆秘書広報室のフェイスブックはこちらから
<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



秘書広報室フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください